

# 平成30年度ジェネリック医薬品使用状況

厚生労働省では増大する国民医療費を抑制する取組のひとつとして、ジェネリック医薬品の使用を促進し、使用割合が80%になることを目標と定めています。

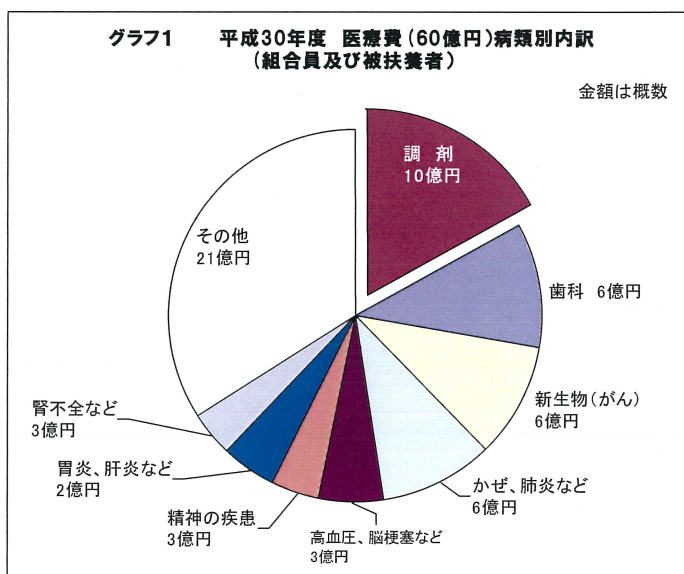
共済組合としてもなるべく早い段階で目標値に到達することを目指し、促進してきたいと考えています。

については、平成30年度のジェネリック医薬品使用状況をお示しします。

## 圧迫する調剤費！

当組合が平成30年度に医療機関に支払った医療費（組合員及び被扶養者）は60億円に達しており、主な内訳を見ると、グラフ1のとおり調剤費だけで10億円（全体の6分の1）に及びます。

調剤費をどれだけ抑えるかが、国民医療費を抑制するための鍵となります。



## ジェネリック医薬品の使用割合状況

ジェネリック医薬品にかかる使用割合の目標値は、令和2年度までのなるべく早い時期に80%以上となっており、グラフ2のとおり九州各県で既に目標値に達成している県も見受けられます。

当組合でも年々使用割合が増えており、平成30年12月の時点で使用割合77.7%と目標値まであと少しのところまで来ています。

これからも所属所としっかり連携を取り、なるべく早い段階で目標値を達成できるよう使用促進を進めて参りますので、ご協力をお願いします！

